SONY

2-638-470-02(1)

光学式 USBワイヤレスマウス

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SMU-WF10

品　名	光学式USBワイヤレスマウス
型　名	SMU-WF10
保証書	T11-1001A-3

この位置に保証書フィルムを正しく合成して、フィルムを完成させること

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

➡ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、故障の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、故障の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。そのままコンピュータに接続すると、コンピュータの故障の原因になることがあります。

内部を開けない

内部の点検、修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。
電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
アルカリ単3形

⚠危険

乾電池が液漏れしたとき
乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

主な仕様

インターフェイス	USB
コネクタ	USBプラグ
分解能	800 counts/inch
送信周波数	27 MHz
チャンネル	1 ch 8190ID
電界強度	500 μV/m
到達距離	約1 m（この距離は、おおよその目安であり受信環境により短くなる場合があります。）
電源	単3形アルカリ乾電池×2
対応機種	- USB A端子付きパソコン - IBM PC/AT互換機（CPUはペンティアム相当以上）
対応OS	- Windows XP Media Center Edition 2005、Windows XP Media Center Edition 2004、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition （上記以外のOSではご使用になれません。また、日本語版標準インストールのみ対応です。OSアップグレードパソコンは動作保証されません。）
動作温度	5 ℃ ～ 35 ℃
動作湿度	20 % ～ 80 %（結露のないこと）
保存温度	–10 ℃ ～ 60 ℃
保存湿度	10 % ～ 90 %（結露のないこと）
外形寸法	マウス本体　約58 × 42 × 115.5 mm（幅 × 高さ × 奥行き） 受信ユニット　約19 × 13 × 74 mm（縦 × 横 × 高さ） 受信ユニットスタンド　約ø50 × 28 mm（直径 × 高さ）約1.5 m（コードの長さ）
質量	マウス本体　約80 g（電池含む） 受信ユニット　約13 g 受信ユニットスタンド　約36 g（コード部含む）
電池持続時間	約6ヶ月（一般使用時）（注）（アルカリ乾電池使用）
付属品	受信ユニット（1）、受信ユニットスタンド（1）、単3形乾電池（2、お試し用）、取扱説明書・保証書（1）

（注）1日8時間マウスPOWER ON/OFFスイッチをONにし、その内の10%をマウス動作させた場合の理論値です。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになるまえにお読みください

- 本マウスは、Windows XP Media Center Edition 2005、Windows XP Media Center Edition 2004、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Editionのみ対応です。
（日本語版標準インストールのみ対応です。）
- 本マウスは、上記以外のOSでの動作を保証しておりません。
- 本マウスは、上記OSのプリインストールされたコンピュータ以外での動作を保証しておりません。
- 本マウスは、OSをアップグレードしたコンピュータでの動作を保証しておりません。
- 本マウスは、コンピュータの環境によっては、対応機種であっても動作を保証しておりません。
- 本マウスは、光学式センサーを使用したマウスです。
光学式センサーの特質上、ガラス、鏡、光沢のある面など、マウスをお使いになる場所によってセンサーが誤動作し、正常に動かないことがあります。その場合、マウスパッドをお使いになるか、他の物を下に敷くか、または場所をかえてお使いください。
（＊一部のマウスパッドで、マウスの動作がおかしくなることがあります。）
- 本マウスの受信ユニットをUSB端子へ接続するときに、プラグを傾けたり、ゆっくり差し込んだりすると誤動作の原因となることがあります。接続するときは、垂直にすばやく差し込んでください。
- お使いのコンピュータによっては、USB端子に接続してもマウスが認識されず動作しない場合があります。その場合はUSBプラグを抜き、約5秒待ってから再び差し込んでください。それでも動作しない場合は、マウスの受信ユニットを接続したままコンピュータの電源をシャットダウンして、約30秒後に再び起動してください。
- スチール製の机、または机の種類によっては、到達距離1m以内であっても、極端に電波の受信状態が悪くなる場合があります。その場合は、以下の方法を試してみてください。
  - 厚手のマウスパッドなどを使って、マウスと手首が直接机に触れないようにする。
  - 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、できるだけマウスに近づけて置く。
  - 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、少し高い位置に置く。
  - 受信ユニットスタンドのケーブルを束ねない。
  - 受信ユニットスタンドのケーブルの置きかたを変え、机の表面から離す。
  - 受信ユニットスタンドの設置方向を変える。
- マウスを使用するときは、USBハブは使用しないで、コンピュータのUSB端子に受信ユニットまたは受信ユニットスタンドを直接接続してください。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

操作について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。

異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。
また、下記「お問い合わせ窓口のご案内」にあるURLから、カスタマーサポートのホームページもあわせてご覧ください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではマウスの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには ⇨ コンピュータ関連アクセサリーカスタマーサポートへ

http://www.sony.co.jp/support/pc-acc/

マウスに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記ナビダイヤル・FAX番号）

本機の商品カテゴリーは[オーディオ商品]-[ラジオ・ラジカセなどの小型オーディオ] です。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名：SMU-WF10
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- ご使用のパソコンの環境
  - ご使用のパソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量
  - OSの種類

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ……… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX …………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

本体／付属品を確かめる

本機をお使いになる前に、すべてそろっているか確かめてください。不足しているものがありましたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにご連絡ください。

マウス SMU-WF10

受信ユニット SMU-WFRC110

受信ユニットスタンド SMU-WCUS110

単3形乾電池（2本、お試し用）
取扱説明書・保証書（1部）

各部のなまえ

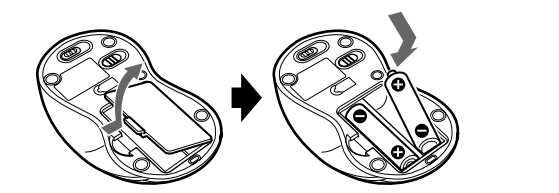
マウス

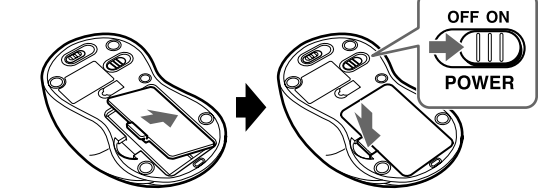
受信ユニット

1. **マルチファンクションホイールボタン**
2. **右ボタン**
3. **左ボタン**
4. **FUNCTIONスイッチ**
5. **電池フタ**
6. **POWER OFF/ONスイッチ**
7. **SETボタン**
受信ユニットとマウスを認識させるときに使います。
8. **光学センサーLED**
9. **モニターLED**
マウスからの電波を受けると、緑色に点滅します。電池が消耗すると、赤色に点滅します。
10. **SETボタン**
マウスと受信ユニットを認識させるときに使います。

電池の入れかた

1 マウス本体底面にあるPOWER OFF/ONスイッチをOFFにする。

2 電池ケースのフタを図のように開け、＋と－の向きを確認して乾電池2本を入れる。

3 電池のフタを図のように閉じる。
POWER OFF/ONスイッチをONにすると、光学センサーLEDが点滅します。

ご注意

- 付属の乾電池はお試し用ですので、新しい乾電池より使用時間が短くなります。お使いになる際には、新しいアルカリ乾電池をおすすめします。
- 航空機内での無線機器の使用は、航空機の運行に支障をきたす恐れがあるため禁止されています。マウスを機内に持ち運ぶ場合は、ボタンなどが押され、電波が発生する恐れがありますので、電池を抜いて携帯してください。

節電について

本マウスは、電池の消耗を抑えるためにPOWER OFF/ONスイッチとスリープモード機能を搭載しています。

POWER OFF/ONスイッチ

本マウスのPOWER OFF/ONスイッチをOFFにすると、本マウスの電源を切ることができ、電池の消耗を抑えます。

スリープモード

マウスをしばらく使わないと入力が感知されないため、自動的にスリープモードに入り電池の消耗を抑えます。

マウスを使わないときは

図のようにマウスの底面にあるPOWER OFF/ONスイッチをOFFに切り換えておくと、電池の消耗を抑えることができます。
ただし長時間使用しないときは電池を抜いておいてください。

電池の交換時期

電池が消耗してくると、受信ユニットのモニターLEDが赤色に点滅します。赤色に点滅しだしたら、新しいアルカリ乾電池をご用意ください。（コンピュータの電源がOFFのときは、モニターLEDは点滅しません。）
LEDが赤色に点滅し、マウスからの送信距離が短くなったなどと感じた場合は、ワイヤレスマウスの機能を引き続き利用するために新しい電池に交換して下さい。

ご注意

電池が消耗し、モニターLEDが赤色に点滅している際にマウスを動かすと、モニターLEDがオレンジ色に点滅する場合があります。これは、電池の交換を知らせる赤色と、受信ユニットがマウスからの電波を受け取っていることを知らせる緑色が同時に点滅するためで、故障ではありません。
電池を交換しても、モニターLEDが緑色に点滅しない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」を確認して、もう一度設定し直してください。

ワイヤレスマウスを接続する

本マウスは、USB接続に対応したワイヤレスマウスです。本マウスは、受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続するだけで認識され、使用できるようになります。
はじめて本マウスを使用するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定が必要です。初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

はじめに

現在ご使用中のマウスが接続されている場合は、そのマウスを取りはずしてください。

ご注意

- 受信ユニットをUSB端子に接続するときやコンピュータを起動する際に、受信ユニットのモニターLEDが一時的に赤く点灯する場合があります。マウスが認識されると消灯しますので、故障ではありません。
- 本マウスの受信ユニットをコンピュータに接続するとき、またはコンピュータを起動するときは、認識されるまでマウスを動かさないでください。
- USBハブを使ってコンピュータに接続しないでください。
- コンピュータやOSの状況によっては、動作しなかったり、動作が不安定となったりすることがあります。その場合は、「故障かな？と思ったら」をご覧ください。
- USB端子から受信ユニットを抜いたあとに、再び差し直す場合は、約5秒待ち、再び差し込んでください。（デバイスの認識がされない場合があります。）
- 受信ユニットをコンピュータに接続した状態で、受信ユニットに力を加えると、受信ユニットが破損したり、コンピュータが故障したりする場合がありますので、注意してください。
- ノートブックコンピュータを持ち運ぶときは、必ず受信ユニットを取りはずしてください。（ノートブックコンピュータに）受信ユニットを接続したまま持ち運ぶと、破損の原因になる場合があります。
- 受信ユニットは本機専用です。他のマウスに使用したり、他のマウスの受信ユニットを本機に使用したりしないでください。

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続する。
コンピュータがマウスを自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

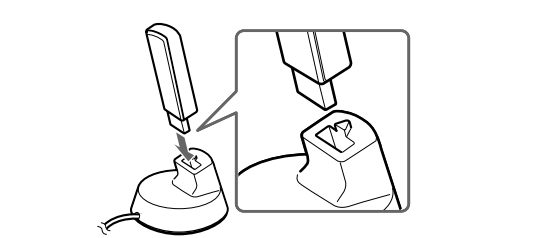
- 一部のコンピュータでは、OSのディスクを要求される場合があります。その場合はコンピュータの指示に従って操作してください。
- 再起動のメッセージが表示された場合は、Windowsを再起動してください。

ヒント

- 本マウスの受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取りはずしたりすることができます。
- ポインタの速度設定などは、マウスプロパティを開いて行ってください。

受信ユニットスタンドの使いかた

USB端子がコンピュータの背面にあったり、コンピュータの本体を机の下に設置してあるなど、マウスを受信ユニットから離れた所で使うとき、あるいはお使いのコンピュータにより受信ユニットを挿入できない場合は、受信ユニットを付属の受信ユニットスタンドに接続すると、受信ユニットをマウスの近くに置いて使えるようになります。

1 受信ユニットスタンドのジャック部に受信ユニットを図のように差し込む。
受信ユニットの凹部と受信ユニットスタンドの凸部を合わせてください。

ご注意

この受信ユニットスタンドは、本マウスの受信ユニット専用です。他の機器は絶対に差し込まないでください。

2 受信ユニットスタンドをコンピュータのUSB端子に接続する。

ヒント

受信状態を安定させるために、図のように受信ユニットスタンドをコンピュータ側に置き、マウスを手前に置いてください。その際には、マウスを動作させて、マウスからの信号を受信しやすい位置に受信ユニットスタンドを設置してください。

ワイヤレスマウスを使うための設定

本マウスをはじめて使う前に、受信ユニットにマウスを認識させます。
はじめに、受信ユニットをコンピュータに接続してください。接続方法については、「ワイヤレスマウスを接続する」をご覧ください。

ご注意

受信ユニットとマウスを10cm位に近づけて、認識させてください。（認識が終了するまでは、マウスを受信ユニットから離さないでください。）

1 受信ユニットの側面にあるSETボタンを押す。
モニターLEDが緑色にゆっくりと点滅します。

2 受信ユニットのモニターLEDが緑色にゆっくりと点滅している間に（約60秒間）、マウス底面にあるSETボタンを押す。
受信ユニットがマウスを認識すると、モニターLEDの緑色が早く点滅し（約2秒間）、
設定が終了します。
正しく設定ができると、マウスを動かしたときに、受信ユニットのモニターLEDが緑色に点滅し、ポインタが動きます。ポインタが動かない場合は、もう1度手順1から行ってください。

ご注意

受信ユニットとマウスの設定時以外に、マウス側のSETボタンを押さないようにしてください。受信ユニットの認識が解除され、動作できなくなります。
SETボタンを押してしまい、動作できなくなった場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう1度行ってください。

ワイヤレスマウスの設置環境について

- 受信ユニットスタンドを使用する場合は、コンピュータのモニター、蛍光灯などの電磁波を発生する機器から20cm以上離して使用してください。
- スチール製の机、または机の種類によっては、到達距離1m以内であっても、極端に電波の受信状態が悪くなる場合があります。その場合は、以下の方法を試してみてください。
  - 厚手のマウスパッドなどを使って、マウスと手首が直接机に触れないようにする。
  - 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、できるだけマウスに近づけて置く。
  - 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、少し高い位置に置く。
  - 受信ユニットスタンドのケーブルを束ねない。
  - 受信ユニットスタンドのケーブルの置きかたを変え、机の表面から離す。
  - 受信ユニットスタンドの設置方向を変える。
- マウスや受信ユニットの近くに机以外の金属製のものがある場合は、20cm以上離して使用してください。
- 電波の受信範囲は約1mですが、電波障害を受けやすい環境では受信範囲が狭くなりますので、ご注意ください。
- 受信部の約1m以内で、本機以外の同じ周波数帯を使用した機器を使用していると、電波障害のためポインタが動かなくなる場合があります。その場合は、受信ユニットと本機のマウスを近づける、または他の機器から離して使用してください。
- 受信ユニットとマウスは、なるべく近づけて使用してください。また、受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して使用する場合、マウスより手前に置くと手などの影響を受けやすく、受信状態が悪くなるのでお薦めできません。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	原因／対策
USB端子にマウスを接続したら「新しいデバイスの追加ウィザード」が表示された	• 複数のUSB端子を持つコンピュータを使っている。 → コンピュータによっては、USB機器用ドライバは端子ごとにインストールする必要があります。「新しいデバイスの追加ウィザード」の［キャンセル］をクリックして、すでにドライバをインストールしてあるUSB端子につなぎ直すか、それぞれの端子にドライバをインストールしてください。
マウスプロパティの設定が有効にならない	• USB端子にマウスが2つ以上接続されている。 → 他のマウスを外してください。 • SMU-S1、SMU-C1などに付属されているユーティリティードライバソフトをインストールしている。 → SMU-S1、SMU-C1などに付属されているユーティリティードライバソフトには対応していません。アンインストールして再起動してください。OSでサポートされているマウスのプロパティの設定が有効になります。アンインストールのしかたについては、お使いのソフトウェアの取扱説明書などをご覧ください。 • 他のマウス（SONY製も含む）のユーティリティードライバソフトがインストールされている。 → アンインストールして再起動してください。OSでサポートされているマウスのプロパティの設定が有効になります。アンインストールのしかたについては、お使いのソフトウェアの取扱説明書などをご覧ください。（ノートブックコンピュータでは、タッチパッド機能が損なわれます。）
マウスがまったく動作しない／ポインタが動かない	• 受信ユニットのモニターLEDが赤色に点滅している。 → 新しい電池に交換してください。 （マウスをしばらく使わなかったときや、コンピュータの電源をOFFにしたりすると、モニターLEDの赤色が一時的に消える場合がありますが、マウスを使いしばらくすると再び点滅します。モニターLEDが赤色に点滅したら、早めに電池を交換してください。） • マウスからの電波を受信ユニットが受信していない。 → 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、マウスに近づけてください。マウスからの電波を受信ユニットが受信すると、モニターLEDが緑色に点滅します。それでも受信しない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう1度行ってください。また、「ワイヤレスマウスの設置環境について」を参照してください。 • 読み取りセンサーが正しく動作していない。 → 光学読み取りセンサーの特質上、マウスを使う場所（ガラス、鏡など光沢のある面）によっては、センサーが誤動作し、正常に動かない場合があります。その場合は、マウスパッドを使うか、他の物をマウスの下に敷く、または場所を変えてお使いください。 • USBコネクタが正しく接続されていない。 → 起動しているソフトウェアを終了してから、コネクタを接続し直してください。 （USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を抜いたあとに再び接続する場合は、約5秒間待ってから接続してください。） • USB端子からの認識がされていない。 → コンピュータに別のUSB端子がある場合は、別のUSB端子に接続してみてください。 （USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を抜いたあとに再び接続する場合は、約5秒間待ってから接続してください。） → マウスの受信ユニットを接続したままコンピュータの電源をシャットダウンして、約30秒後に再び起動してください。それでもマウスがまったく動作しない場合は、何度かこの操作を繰り返してください。 • コンピュータでUSBが認識されていない。 → 動作する他のマウスまたはキーボードを使用して、次の内容をお試しください。「コントロールパネル」から「システム」を開き、デバイスマネージャの項目を確認してください。USBデバイスアイコンやマウスアイコンに「！」が表示されている場合は、「！」を選び「削除」をクリックし、コンピュータを再起動してください。 • BIOSでUSBが認識されていない。 → コンピュータのデフォルト設定で、BIOS設定のUSBポートが「無効」（Disabled）になっている場合があります。コンピュータの取扱説明書などに従ってUSBポートを「有効」（Enabled）に変更してください。 • ハブやキーボード経由の接続をしている。 → コンピュータに直接接続してみてください。 • POWER OFF/ONスイッチがOFFになっている。 → POWER OFF/ONスイッチをONにしてください。
マウスを動かしても、ポインタがときどき動かない	• マウスからの電波を受信ユニットが受信していない。 → 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、マウスに近づけてください。マウスを動作させたとき、マウスからの電波を受信ユニットが受信すると、モニターLEDが緑色に点滅します。それでも動かない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう1度行ってください。 • 近くで、別のワイヤレスマウスを使用している。 → 本マウスを、他のワイヤレスマウスから約1m以上距離をあけて、使用してください。 • 近くに電磁波を出す電子機器がある。（モニター、蛍光灯など） → 受信ユニットおよびマウスを電子機器より離して使用してください。 • 読み取りセンサーが正しく動作していない。 → 光学読み取りセンサーの特質上、マウスを使う場所（ガラス、鏡など光沢のある面）によっては、センサーが誤動作し、正常に動かない場合があります。その場合は、マウスパッドを使うか、他の物をマウスの下に敷く、または場所を変えて使用してください。
マウスのボタンを押しても反応しない	• マウスからの電波を受信ユニットが受信していない。 → 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、マウスに近づけてください。マウスからの電波を受信ユニットが受信すると、モニターLEDが緑色に点滅します。それでも動かない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう1度行ってください。 • USBコネクタが正しく接続されていない。 → 起動しているソフトウェアを終了してから、コネクタを接続し直してください。 • 対応以外のOSを使用している。 → 対応OSをお使いください。
スクロールしない	• マウスからの電波を受信ユニットが受信していない。 → 受信ユニットを受信ユニットスタンドに接続して、マウスに近づけてください。マウスからの電波を受信ユニットが受信すると、モニターLEDが緑色に点滅します。それでも動かない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう1度行ってください。 • 対応以外のOSを使用している。 → 対応OSをお使いください。 • スクロール機能に対応していないソフトウェアを開いている。 → ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していない場合があります。
マルチファンクションホイールを回転してもズーム機能が動作しない	• ソフトウェアがズーム機能に対応していない。 → ズーム機能に対応したソフトウェアのみ機能します。
マウスを動かし、ポインタが動くまでに時間がかかる	• マウスがスリープモードになっている。 → マウスをしばらく使わないと、電池の消耗を少なくするためスリープモードになります。ポインタが動きだすまでに時間がかかりますが、故障ではありません。
モニターLEDがオレンジ色に点滅する	• 電池残量が少なくなっている。 → マウスからの電波を受信ユニットが正常に受信していることを知らせる緑色と、電池の交換を知らせる赤色が混ざり、オレンジ色に見えます。電池残量が少なくなっていますので、新しい電池と交換してください。
ノートブックコンピュータでポインタ速度が設定できない	• ノートブックコンピュータに内蔵されているポインティングデバイスが優先されている。 → ノートブックコンピュータの仕様によっては、マウスプロパティでポインタの設定速度を変更しても、タッチパッド操作でのポインタ速度のみが変更されて、マウス操作でのポインタ速度は変更されない場合があります。
マウス使用時でも、液晶ディスプレイが暗くなったり、省電力動作モードに入る	• USB機器は使用中でも、コンピュータが省電力動作モードに入る機器があります。 → 省電力動作モードに入らないようにするには、ノートブックコンピュータのパワーマネジメント機能の設定を変更します。詳しくは、ノートブックコンピュータ本体の取扱説明書、または電子マニュアルをご覧ください。 → タッチパッドあるいはキーボードを操作すると、省電力モードから復帰します。

マルチファンクションホイール機能

本マウスは、マルチファンクションホイールボタンを左右に傾けることにより、左右スクロールなどをするマルチファンクションホイール機能を搭載しています。
マルチファンクションホイールボタンの働きは、マウス底面のFUNCTIONスイッチにより以下のように切り換えられます。

FUNCTIONスイッチ	マルチファンクションホイールボタン		
FUNCTION 1	キーボードの「←」と同じ働き	キーボードの「→」と同じ働き	通常のホイールボタンと同じ働き
FUNCTION 2	コピー*2	貼り付け	元に戻す
FUNCTION 3	Webブラウザ*1の「戻る」	Webブラウザ*1の「進む」	Webブラウザ*1の「ホーム」 Netscape Navigator 4.xには対応していません。
FUNCTION 4	コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」から調節できるマスタ音量を下げる	コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」から調節できるマスタ音量を上げる*3	コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」から調節できるマスタ音量を消音する

*1 対応ソフトウェア：Microsoft Internet Explorer 5.x、6.x、Netscape Navigator 4.x、6.x、7.x
*2 使用しているソフトウェアによっては、コピー時の選択を解除できないことがあります。その場合は、ダブルクリックをするか、キーボードの「Enter」キーを押してください。
*3 はじめからボリュームを上げすぎないように注意してください。突然大きな音が出ないようにマスタ音量は徐々に上げてください。